

## 植物多様性センターの「オオミサルナシ」

果樹林エリアのオオミサルナシに花が咲きました。サルナシはマタタビ科マタタビ属の落葉性つる植物です。雌雄異株または雌雄雑居性という珍しい性質で、雄花の付く株と雌花が付く株、両性花の付く株があります。果樹林エリアにある株は両性花が付く大実の栽培品種です。去年は花が少なくて実も1つしかできませんでしたが、今年は花がたくさん付いたので、どのくらい実ってくれるか秋が楽しみです。



つるは大変丈夫で水に強く、橋や筏を造るのに使われた。



葉は互生して、表面には光沢がある。



花柱は糸状で放射状に広がる。雄ずいは多数あり、葯は暗紫色



しおれた花柱をつけたまま肥大し始めた若い果実